

企画展

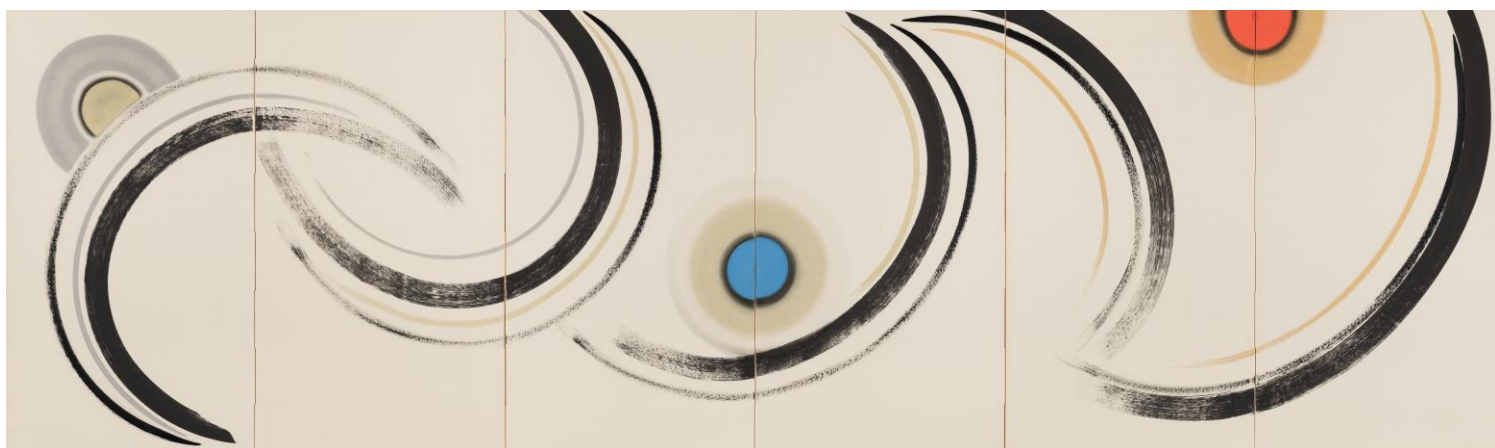
生誕 100 年

# 佐藤多持展

～ 水芭蕉曼陀羅 / 果てしなき運動体 ～

前期展：2019年4月2日(火)～5月12日(日)

後期展：2019年5月18日(土)～6月30日(日)



## たましん歴史・美術館

主催：公益財団法人たましん地域文化財団

協力：青梅市立美術館、福寿山無量聚院観音寺、画廊『岳』、  
ギャラリー国立、コート・ギャラリー国立

後援：国立市、立川市、国立市教育委員会、立川市教育委員会、J:COM 多摩

〒186-8686 東京都国立市中 1-9-52 多摩信用金庫国立支店 6F

TEL 042-574-1360 FAX 042-577-5070

<http://www.tamashin.or.jp>

---

## 1 展覧会名 生誕 100 年 佐藤多持展～水芭蕉曼陀羅／果てしなき運動体～

### 2 開催概要

#### A：一言でいうと

画家・佐藤多持の生誕 100 年を記念し、初期～60 年代は通期、70～80 年代は前期展、90 年代以降は後期展に展示し、代表作《水芭蕉曼陀羅》連作と、ドローイングや色紙、初期作品ほか関連資料を紹介し、生涯の芸術表現の変遷をご紹介します。あわせて、観音寺の水芭蕉曼陀羅 36 面襖絵の特別公開、青梅市立美術館、画廊『岳』、ギャラリー国立、コート・ギャラリー国立、たましんギャラリーで同時企画展も開催します。

#### B：詳細にいうと

2019 年で生誕 100 年を迎える佐藤多持（1919－2004）は、1919 年、東京府北多摩郡（現・国分寺市）の真言宗観音寺住職の二男として生まれ、画家を志し東京美術学校（現・東京藝術大学）日本画科へ進学します。41 年に繰上げ卒業し応召しますが、演習中に右手を負傷し除隊。43 年からは立川市の昭和第一工業学校（現・昭和第一学園高校）へ勤めながら、色紙に《戦時下の絵日誌》を描き、戦後は旺玄会に油絵を、日本アンデパンダン展（読売新聞社主催）に日本画を発表。49 年、友人と訪れた尾瀬で、生涯のモチーフとなる“水芭蕉”との啓示的な出逢いを果たします。

その後、50 年代には水芭蕉の形態を純化し、形象的表現から抽象へと向かいます。公募展から離れ 57 年に美術グループ「知求会」を結成し、以降中心的な発表の場とし、61 年に代表作である《水芭蕉曼陀羅》を初めて発表します。作品形状は空間の拡がりを用意し二曲屏風、六曲屏風へと展開し、いつしか画面から水芭蕉の形は消え、空間を躍動する線と円の運動により、自然や人間に内在する“宇宙”を描く独自の抽象墨画表現へと至り国内外で評価を得、2004 年に 85 歳で生涯を閉じるまで創造の変奏は続きました。

本展は、初期～60 年代を通期、前期展は 70～80 年代、後期展は 90 年代以降を中心とし、《水芭蕉曼陀羅》と、ドローイングや色紙、初期作品ほか写真・画材など関連資料により、生涯の芸術表現の変遷を辿ります。また本展にあわせ、1980 年に完成・奉納した生家・観音寺の水芭蕉曼陀羅 36 面襖絵の特別公開、青梅市立美術館、画廊『岳』、ギャラリー国立、コート・ギャラリー国立、たましんギャラリーで同時企画展も開催します。

「描いているすべては宇宙の運動体の一部であり、その軌跡」だと画家は語り、どこまでも果てしなく続く運動体は、鑑賞者を無限の宇宙へと誘います。具象—形象—抽象—心象へと進化した佐藤多持の芸術表現の軌跡を、ぜひご体感ください。

### 3 展示構成・見どころ

#### 第一章 小中学校時代・東京美術学校時代～戦中・戦後

小学校時代の油絵や、中学校時代の俳句、東京美術学校（現・東京藝術大学）時代の習作、戦中～戦後に描かれた《戦時下の絵日誌》と日本画などを、手稿や画帳とともに紹介します。

#### 第二章 水芭蕉曼陀羅が生まれるまで

1992 年の「佐藤多持の世界—水芭蕉曼陀羅が生まれるまで—1939-1965[1]」で紹介した様式形成の黎明期について展覧します。

#### 第三章 水芭蕉曼陀羅の変遷 1966 年～80 年代（前期展）

《水芭蕉曼陀羅》「白」「黄」のシリーズの初期から制作の円熟期までを紹介します。

六曲屏風 3 点に包まれる展示空間をご体感いただきます。

#### 第四章 水芭蕉曼陀羅の変遷 90 年代以降（後期展）

60～80 年代にみられた漆黒の空間から、純白の世界へと変化した晩年の仕事について、「白」「黄」シリーズの最終作、絶筆までを紹介します。

#### 補章 資料展示

筆、パレット、墨、印章などの画材、画帳、愛用のカメラなどの資料を展示します。

### 4 主な作品

- 《水芭蕉曼陀羅 白》1963-64 年 紙本墨彩岩彩 163.0×546.0 cm（屏風・六曲一隻）観音寺蔵
  - 《水芭蕉曼陀羅 黄 70》1984 年 紙本墨彩岩彩 163.0×546.0 cm（屏風・六曲一隻）佐藤家蔵
  - 《水芭蕉曼陀羅 黄 124》1996 年 紙本墨彩岩彩 163.0×546.0 cm（屏風・六曲一隻）観音寺蔵
  - 《水芭蕉曼陀羅 黄 165》2004 年、紙本墨画彩色 60.6×72.0 cm 佐藤家蔵
-

**5 会期・会場等**

**会 期** たましん歴史・美術館 前期展：4月2日(火)～5月12日(日)  
後期展：5月18日(土)～6月30日(日)  
たましんギャラリー 前期展：4月4日(木)～4月29日(月・祝)  
後期展：5月2日(木)～6月4日(火)

**会 場** たましん歴史・美術館 〒186-8686 東京都国立中1-9-52 多摩信用金庫国立支店6階  
たましんギャラリー 〒190-8681 東京都立川市曙町2-8-28 多摩信用金庫本店9階

**開館時間** 10:00～18:00(入館は17:30まで)、たましんギャラリー10:00～17:00

**休 館 日** 月曜、GW期間は開館(ただし、4月30日(火)、5月1日(水)、5月7日(火)は休館)

**6 主催・後援・助成等**

**主 催** 公益財団法人 たましん地域文化財団

**協 力** 青梅市立美術館、福寿山無量聚院観音寺、画廊『岳』、ギャラリー国立、  
コート・ギャラリー国立

**後 援** 国立市、立川市、国立市教育委員会、立川市教育委員会、J:COM 多摩

**7 入館料**

300円(中学生以下無料)、たましんギャラリーは入場無料  
※中学生以下無料 ※障がい者手帳をご提示の方及び付き添いの方1名は無料

**8 関連イベント**

○生誕100年記念 トークセッション 佐藤多持を語る  
4月13日(土)14:00～15:30 ※13:30開場  
縁の深い方々を交え、佐藤多持について語り合います。  
会場 : 多摩信用金庫国立支店3階 ラウンジ  
参加費 : 無料 定員:50名  
参加方法: 事前に電話(042-574-1360)にて予約(先着順)

○水芭蕉曼陀羅 福寿山無量聚院 観音寺 36面襖絵 特別公開  
1980年に5年の歳月をかけ完成、奉納した36面の襖絵を本展にあわせ特別公開します。  
4月20日(土)、21日(日) 10:00～16:00  
会場 : 観音寺 〒185-0035 東京都国分寺市西町2丁目27番8 電話:042-572-3225  
参加費 : 無料 事前申込:不要

○学芸員によるギャラリートーク  
展示室内で作品についての解説を行います。  
4月16日(火)、5月25日(土)いずれも14:00～ 場所: たましん歴史・美術館 展示室内  
参加方法: 参加無料・予約不要(入館料のみ必要)

○学芸員によるスライドトーク  
生涯の作品変遷をスライドでわかりやすく解説します。  
6月22日(土)14:00～  
会場 : 多摩信用金庫国立支店3階 ラウンジ 定員:50名  
参加方法: 事前に電話(042-574-1360)にて予約(先着順)

**9 お問い合わせ先**

公益財団法人 たましん地域文化財団 〒186-8686 東京都国立市中1-9-52  
Tel.042-574-1360 Fax.042-577-5070 <http://www.tamashin.or.jp>  
広報担当(写真貸出しについて):事務局 木下、箕輪 展覧会担当:美術資料室学芸員 藤森、中澤

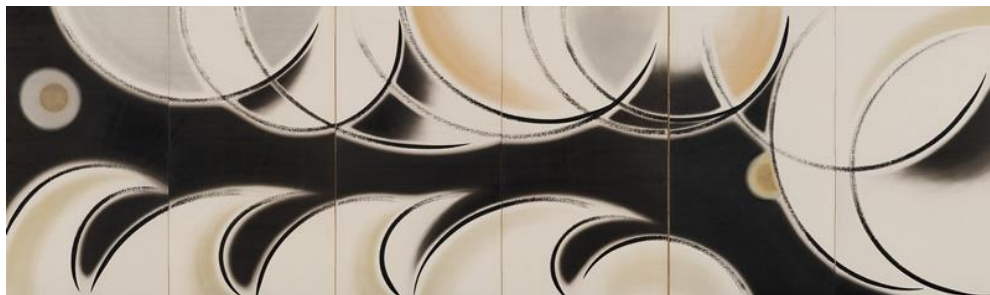
**【記事掲載についてのお願い】**

- ・掲載にあたっては、正式名称と会期の表記をおこなってください。
- ・作品画像を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を併記してください。
- ・紙面掲載する電話番号は公益財団法人たましん地域文化財団 042-574-1360 でお願います。
- ・掲載記事およびVTRは、公益財団法人たましん地域文化財団 藤森 までご送付ください。
- ・取材及び記録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。

- ① 《水芭蕉曼陀羅 あ》  
1964年 紙本墨画彩色 122.1×145.6cm 多摩信用金庫蔵



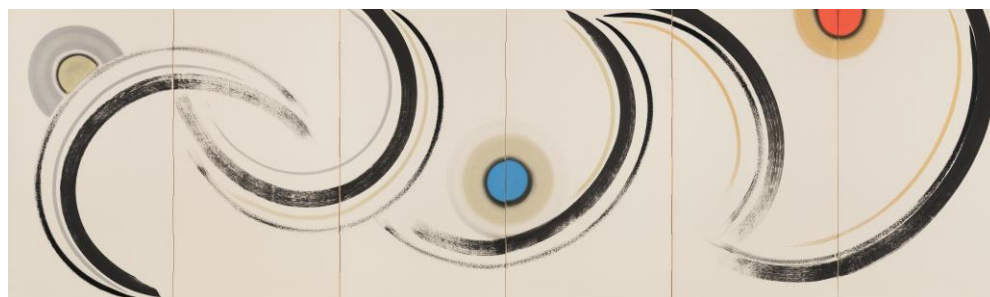
- ② 《水芭蕉曼陀羅 黄 70》  
1984年 紙本墨画彩色 163.0×546.0cm 佐藤家蔵



- ③ 《水芭蕉曼陀羅 黄 124》  
1996年、紙本墨画彩色 163.0×546.0cm 観音寺蔵



- ④ 《水芭蕉曼陀羅 黄 146》  
2001年、紙本墨画彩色 163.0×546.0cm 佐藤家蔵



- ⑤ 《水芭蕉曼陀羅 黄 164》左  
1964年、紙本墨画彩色  
163.0×182.0cm 佐藤家蔵



- ⑥ 《水芭蕉曼陀羅 黄 165》右  
2004年、紙本墨画彩色  
60.6×72.0cm 佐藤家蔵

